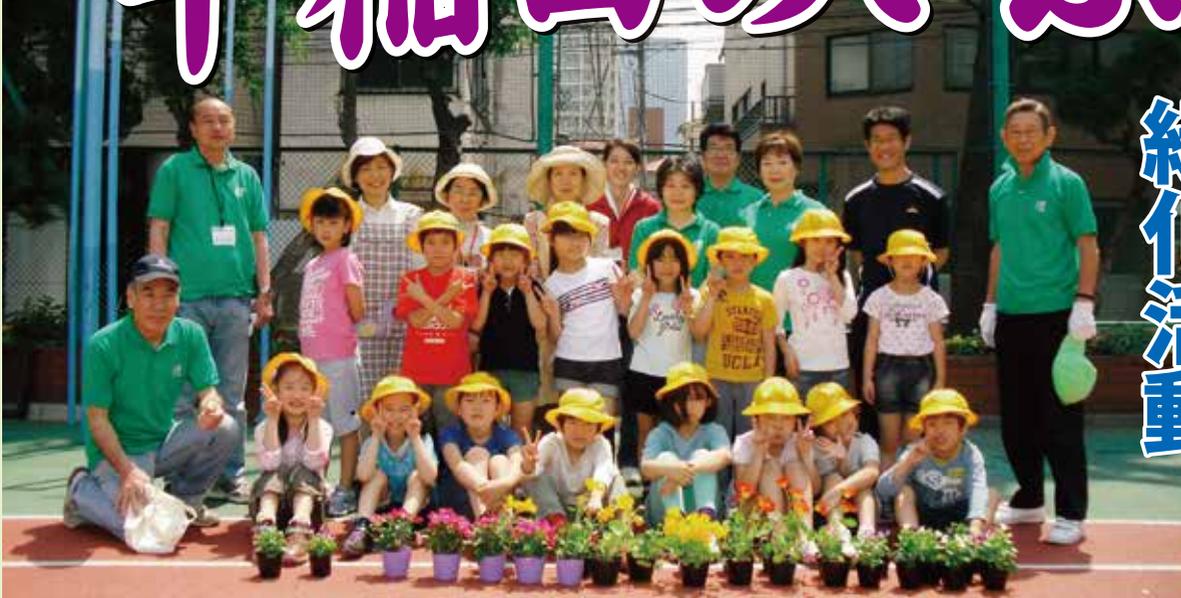


早稲田のいぶき

環境美化分科会
江戸川小学校で
緑化活動

5月15日



環境美化分科会はまちの環境美化の一環として、毎年地域の3つの小学校の緑化事業を継続的にを行っています。5月15日は江戸川小学校で実施しました。校庭の道路側フェンスの内側、外側に長く広い花壇があり、小学生だけでなく道行く多くの方々の目も楽しませています。

今年は2年生16名、先生2名、みどりのボランティア4名、委員6名総勢28名でマリーゴールド、日々草、アゲラタムなど色とりどりの季節の鉢植えを花壇に植え替えました。2年生は昨年に引き続き2回目とあって花の扱いも手慣れたもの、最後の水やりなどは率先してやれるようになっていました。

一鉢二鉢と移し替えられ、まだ肌寒さの残る中でしたが、赤、黄、白、ピンク、緑のカラフルな色は瞬く間に初夏の装いで長い花壇を飾っていききました。また、翌週の運動会には保護者の方々を可愛い花でお迎えてきたと大変喜んで頂きました。

今年は2年生だけでやりましたが、江戸川小学校は年々児童数が増え今年の1年生は22名となっています。来年は経験のない新2年生22名と一緒にやることになるでしょう。早くも来年が楽しみです。

なお、江戸川小学校には保護者で草花の世話をする「みどりのボランティア」が結成されており、休みの期間も面倒を見て下さっています。

安全安心分科会

命を守る授業 交通安全教室

安全安心分科会は青パトロールカーを出動して子ども们的下校時に合わせた声掛け運動を行っています。また新1年生用に防災マップを各校に寄贈しました。

6月11日、江戸川小学校で小学校1年生2年生を対象に「命を守る授業・交通安全教室」を東京トラック協会の協力の下、開催。

体育館でお巡りさんの交通安全教室に続き、児童に運転席からの死角を分かってもらうため、児童一人ひとりをトラックの運転席に乗せて死角体験をしてもらいました。途中から小雨が降り始めましたが、38名の児童は傘をさして順番を待ち真剣に取り組んでいました。



防災ワークショップ報告会

顔の見える関係をつくり、支援者の輪を広げよう

昨年9月に行った防災ワークショップの成果・課題を共有し、今後の活動につなげていくため、3月9日(土)に防災ワークショップ報告会を行いました。

今回も、町会・青少年育成会・民生児童委員・避難所運営管理協議会・鶴巻小学校そしてこの地域を代表する企業である大日本印刷・イトーヨーカドーの代表が一堂に会しました。進行役には前回と同様に工学院大学村上准教授を迎え、前回の振り返りと質疑応答、村上先生の講演「首都直下地震に備えてー顔の見

える関係をつくり、支援者の輪を広げよう」を行いました。先生は、「支援者を育てること」、「支援者の輪を広げること」、「支援者を受け入れる環境をつくること」の重要性について話されるとともに他地域の取組みを紹介されました。防災ワークショップの成果を生かしていくべく、今年度は鶴巻小学校避難所運営管理協議会をモデル地区として工学院大学と連携して発災対応型訓練の新たな取り組みを行うこととなりました。



文京区を巡る

江戸川公園く芭蕉庵く東京カテドラルへ

3月17日(日)第9回となる今回は、主に神田川沿いに文京区を巡るコースです。

地域センターを出発した一行23名は早稲田鶴巻町にある田島の森碑に向かいます。神楽坂にある赤城神社はかつてこの地にあり、元赤城神社と呼ばれています。

江戸川公園から芭蕉庵へ。松尾芭蕉が神田上水の改修工事に携わった頃の住まい跡で、かつての風情を偲ばせます。さらに細川家の下屋敷であった回遊式日本庭園の新江戸川公園を散策し、その名の由来通り胸を突かれる急坂の胸突き八丁を上り野間記念館に。講談社の創業者、野間清治氏が収集した美術品が展示されています。最後は丹下健三氏設計による東京カテドラル聖

マリア大聖堂。ミサの終わった荘厳な大聖堂には静寂が流れており、一行はしばし時間を忘れてしまいました。皆さんも魅力的な公園や建物があるお隣文京区にもぜひ足をのばして下さい。



みどりのカーテンプロジェクト

「みどりのクラブ」は5月1日に地域センターに於いて環境学習センターと「みどりのカーテンプロジェクト」を共催。みどりのクラブから8名の委員とメンバーが午前部、午後の部とほぼ丸一日お手伝いに入りました。

榎地区は「みどりのカーテンプロジェクト」を自主的な活動方法で発展させているのが他の地域と違う

特色の一つといえます。ゴーヤ収穫祭として8月にゴーヤサロン開催、地域のお料理上手な方々が数々のゴーヤ料理とレシピを紹介。みどりのカーテンとしてのゴーヤと家庭菜園としての栄養たっぷりなゴーヤの収穫を二石二鳥で楽しんで頂けるように、このプロジェクトを推進、応援しています。

どなたもが自由に参加できる「ふれあいデー」は毎月、第1日曜日午後1時から早大通りにて実施。「ふれあいクッキング」は榎町地域センターにて1回実施。

ふれあいデー 平成25年1月から6月

1月6日 獅子舞・太鼓・血回し・ミニ獅子をつくろう！

風もなくお正月日和、恒例の「ただじゅんさん」の獅子舞・和太鼓・血回し・津軽三味線鑑賞。最後は獅子にかんでもらい1年の健康と福をいただきました。また、かわいいミニ獅子も作り甘酒もふるまわれ、子どもも大人も福福しいお顔になりました。



元気に舞って 疫病退治!!

2月3日 「節分豆まき」 鬼のお面作りですすー!

三種類の鬼の面から好きな形色を選んで型に合わせ、缺で切り抜きカラーペンでペイント「世界に1つ自分だけのオリジナルお面」が完成。そして、いよいよ小袋入りのお豆をまく人、キャッチする人に分かれみんな大きな声で「福は内！福は内！面作りも満足、お豆もたくさんトレーター！と嬉しそうに一時を楽しんだ様子でした。



ほくのわたしの たったひとつだけのお面だ〜い。

2月11日 ふれあいクッキング

講師・中村廣子さんで「命のスープ」のご紹介。ご年配の参加者が多かった今回は柔らかい焼き豚風りんご煮、デザートに白玉粉のうぐいす餅も作りました。ちょっとした工夫で数種類の栄養満点なスープが簡単にできることを皆さん納得。健康に良く、お味も美味しく喜んで頂けました。



丁寧な指導に 真剣な眼差し

美味しそうな でき映えに思わず 笑顔がこぼれます



3月3日 「お雛様作り」

曇りで寒く人通りの少ない日でしたが、松原スタッフの指導で折り紙、飾り用材料を使ってそれぞれかわいいお雛様がつくられました。子どもさんの真剣な取り組みにスタッフ一同感動してしまいました。

4月7日 ふれあいデーは悪天候で 中止となりました。

5月5日 「鯉幟を作るろう！」

おおきな鯉幟は子どもたちが白い布にいきなりペイントを使って描き出します。周りの大人は、その大胆さにははらはらしますができた鯉幟をロープに結ぶとなんと立派な鯉幟。写真でゆうゆうと泳いでいるのは昨年のお品です。今回はペイントが乾かず見られませんが来年の5月にご披露したいです。また、子ども達それぞれのイメージで折り紙を使い飾り紙も工夫してかわいい綺麗なミニ鯉幟も完成うれしそうに持ち帰りました。



ゆうゆうと泳ぐ ペイントされた 鯉幟り

6月2日 「木工細工に挑戦」

普段あまり使わない金づちやくぎを使い、思い思いに真剣そのもの。子どもの「ノコギリで切って」との注文にスタッフは汗だく。木工用ボンドでべったんこにしながら作っていく幼稚園の子どもから大作に挑む中学生まで子どもたちも皆一人ひとり楽しみながら熱中していました。

威勢の良い 太鼓の音が 早大通りに響きます



平成24年度

榎地区協議会まちづくり活動支援補助金精算書

補助事業名	事業内容		収入額(A)	支出額(B)
榎地区ふれあいまちづくり事業(榎地区の未来を考え、歴史・安全安心・環境・人とのふれあいに重点を置き、次世代に受け継ぐ事業)	活動推進事業	広報紙の発行 イベント等でのPR	1,654,000円	518,135円
	地域活性分科会	歴史と文化のまち歩き コミュニティ・ワークショップ みどりのクラブ事業		197,244円
	安全安心分科会	「ピーポ110ばんのいえ」 加入呼びかけ 安全・安心パトロールの実施		15,040円
	環境美化分科会	「放置自転車追放・ポイ捨て禁止」 キャンペーンの実施 地域の緑化推進活動		185,022円
	地域ふれあい分科会	榎ふれあいデーの推進 榎ふれあい クッキングの実施		236,584円
計			1,654,000円	1,152,025円
返還額(A-B)				501,975円

平成25年度

榎地区協議会まちづくり活動支援補助金予算

補助事業名	事業内容		収入額
榎地区ふれあいまちづくり事業(榎地区の未来を考え、歴史・安全安心・環境・人とのふれあいに重点を置き、次世代に受け継ぐ事業)	活動推進事業	広報紙発行 イベント等でのPR	561,000円
	地域活性分科会	歴史と文化のまち歩き 地域活性講座事業 「みどりのクラブ」運営	206,100円
	安全安心分科会	安全・安心出前講座 生活安全講座 「ピーポ110番のいえ」配布用マップ作成 安全・安心パトロール実施	269,750円
	環境美化分科会	地域緑化事業・植栽の維持 ガーデニング講座 “放置自転車追放”“ポイ捨て禁止”キャンペーン	272,000円
	地域ふれあい分科会	榎ふれあいデーの推進 榎ふれあい食育の実施	320,000円
計			1,628,850円

5月20日に榎地区協議会総会を行い、平成24年度活動報告・決算報告・監査報告・役員及び委員の改選の各議案が承認され、会長は黒川孔晴氏、副会長は中村廣子氏及び大山峻氏が選任されました。引き続き行われた第1回全体会では、平成25年度の活動計画及び予算についての説明の後、各分科会会に分かれ、新委員を交えて分科会ごとの活動計画について話し合いました。

●榎地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

お問合せ・ご応募は 榎地区協議会事務局(榎町特別出張所内)まで

TEL 03-3202-2461 FAX 03-3202-2476

〒162-0042 新宿区早稲田町85番地 榎町特別出張所内 榎地区協議会事務局

<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/261500enoki/index.html>

お待ちしております

公募委員

おります